

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TDB202 TGB268	情報リテラシーⅣ（DB）水 2 ITビジネス概論Ⅱ		
科目名（コード）	TDB202 TGB268	情報リテラシーⅣ（DB）水 2 ITビジネス概論Ⅱ		
対象学科	グローバルビジネス学科		配当学年	2 年生
対象コース	DB2とGB2		単位数	2単位30
授業担当者	伊藤、鈴木		時間数	
成績評価教員	伊藤、鈴木		講義期間	春期
実務者教員			履修区分	必修
実務者教員特記欄				

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	現在急速に発展している、生成AI（ChatGPTとそれを利用したBing）を、実際に利用方法を習得します。また、生成AIの今後の発展、利用に際しての課題や注意点について理解します。
全体の内容と概要	生成AIについて、Bing(ChatGPT 4を含む)を使用して、理解を深め、その利用法と課題について学びます。
授業時間外の学修	積極的に生成AIを利用してください。ただし、利用した結果の責任は、すべてが自己責任となることは理解しておく必要があります。
履修上の注意事項等	積極的に生成AIを利用してください。ただし、利用した結果の責任は、すべてが自己責任となることは理解しておく必要があります。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	生成AIが利用するのに十分なレベルまで来ていることを理解する	①Bingで、提示したさまざまなプロンプトを試してみる ②グループで発表(利用可能な例、不適切な例)
2	生成AIが利用するのに十分なレベルまで来ていることを理解する	①Bingで、提示したさまざまなプロンプトを試してみる ②グループで発表(利用可能な例、不適切な例)
3	AIの歴史を知る	①AIの歴史 5
4	AIの歴史を知る	①AIの歴史 6
5	AIの技術	自然言語処理
6	AIの技術	強化学習
7	AIの技術	ニューラルネットワーク
8	AIの技術	アテンションとトランスフォーマー
9		調整
10		調整
11		調整
12		調整
13		調整
14		学期試験
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	